

設定 (3) リグコントロール

The screenshot shows the CTESTWIN 4.22 software interface. The '設定(S)' menu item is circled in red. The 'Rig Control Setting' dialog box is also circled in red. The dialog box contains the following settings:

- リグコントロールを行う
- RIG 1: COM port: COM10, RIG: FTDX9000, baud rate: 9600 bps, Transverter offset: 0.000 MHz, DTR,RTSをON, 仮想周波数設定: 21MHz, 仮想周波数設定, CTS変化で初期化
- RIG 2: None, None, 1200 bps, 0.000 MHz, DTR,RTSをON, 仮想周波数設定: 21MHz, 仮想周波数設定, CTS変化で初期化
- RIG 無し: 仮想周波数設定, 21MHz, Rig1選択時 出力: None, RTS, DTR, High, Low, Rig無 選択時: =Rig1, =Rig2, DTR端子制御キー: 割当無, Home, ¥, 無変換
- リグを自動選択する, リグのモードを読んでCTESTWINに設定する, Headphone切替: None, Logic逆, 備考欄に周波数を記録する, 表示桁: 1kHz, 四捨五入, CWモードはCW-Rにする, 通信エラー表示する, Ctrl+F9の周波数設定, Up/Down step設定, 周波数リストデータが消失時間: 30分 (Max. 500), 同一周波数と見なす(上書時): 100 Hz以内, 周波数リストkHz表示, ICOM filter: 指定無, FIL0, FIL1, FIL2, FIL3, 定期的取得 10 x100m秒, 定期的取得する場合は、RigのトランシーブモードをOFFに設定の事, YAESU周波数取得: 10 x100m秒, YAESU DIGモード: RTTY, PSK, Ten-Tec周波数取得: 5 x100m秒, Kenwood周波数取得: 15 x100m秒, YAESU新リグ/Kenwood ハードフローコントロールしない, データ登録時RITクリアする, Kenwood/Elecraft/YAESU新リグ VFO B無視, スメモータ設定, Ctrl+Tでリグ選択時に「Rig無し」をスキップする, リグ内蔵キーに速度設定, 周波数が一致したら自動的にCallを設定する (JA局を除く), 周波数リストを自動的にソートする, 読みwait 100 ms, Newマルチ局を確認して周波数リストへ表示, デジタルモード設定, リグの実モード設定 (CTESTWIN→リグ): RTTY, PSK, MSK144, QPSK/GMSK他, MSK144, JT65/FT8他, WSPR



コンテスト中に周波数やモードを変えると、
自動的に追従

パーシャルチェック

Call: JA1G 28MHz SSB

N.	Date	Time	Call	Freq.	Mode	My	Ur	Rem
105	7/17	0630	JA1CJL	28MHz	SSB	5900	5917	
106	7/17	0632	JH1EKQ	28MHz	SSB	5912	5917	
107	7/17	0633	J11LNP	28MHz	SSB	5918	5917	
108	7/17	0634	JH1VUO	28MHz	SSB	5901	5917	
109	7/17	0635	JA1NVF	28MHz	SSB	5900	5917	
110	7/17	0638	JF1JDG	28MHz	CW	59909	59917	
111	7/17	0639	JA1OHP	28MHz	CW	59906	59917	
112	7/17	0640	JO1PVC	28MHz	CW	59911	59917	
113	7/17	0642	JA1IAZ	28MHz	CW	59917	59917	
114	7/17	0644	JE1FOV	28MHz	SSB	5908	5917	
115	7/17	0645	JA1PSV/1	28MHz	SSB	5908	5917	
116	7/17	0647	JH1ASG	28MHz	CW	59904	59917	
117	7/17	0648	JA1WSE/1	28MHz	CW	59909	59917	
118	7/17	0649	JA1UOP	28MHz	SSB	5900	5917	
119	7/17	0649	7K1LUE	28MHz	CW	59915	59917	
120	7/17	0652	JM1GOH/1	28MHz	CW	59913	59917	
121	7/17	0653	JL1OVC	28MHz	CW	59918	59917	
122	7/17	0653	JA1JNR	28MHz	CW	59917	59917	
123	7/17	0654	JH1SUU	28MHz	CW	59900	59917	
124	7/17	0655	JA1WZX	28MHz	CW	59900	59917	
125	7/17	0656	JM1LRQ/1	28MHz	CW	59900	59917	
126	7/17	0658	JH1JGC/1	28MHz	CW	59900	59917	
127	7/17	0658	JK1PIU	28MHz	CW	59912	59917	

コールサインの一部入力で

⇒ 重複 QSO チェック
以前QSOした局表示
(コンテストナンバー)

Call	N.	Freq	M.	Date Ti...	Rem
JA1GBX	11M				
JA1GBX	11L				
JA1GHR	17	28MHz	SSB	7/17 0650	
JA1GHR	11H				50M CW 2

パーシャルチェック
ファイル書き込み

- ファイル出力(I) その他(O) ヘルプ(H)
- TXT形式ファイル出力
- HAMLOG CSVファイル出力(V5)
- JARL電子ログシート出力
- ADIFファイル出力
- Cabrilloファイル出力 (V3.0)
- Cabrilloファイル出力 (V2.0)
- LOGCSWファイル出力
- HAMLOG 旧バージョン用
- その他ファイル出力
- 現パーシャルチェックデータをファイル出力ログをパーシャルチェックファイルに追加

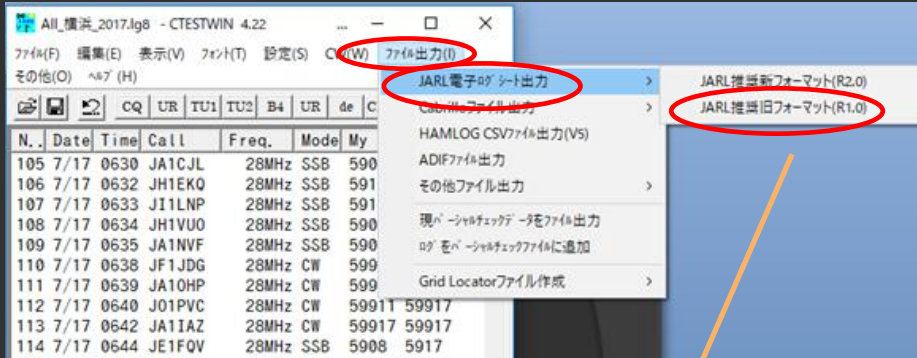
パーシャルチェックファイル読み込み

- 表示(V)
- フル表示
- 点数表示
- パーシャルチェック表示
- 10分タイマー
- 終了時間タイマー
- QSOレートグラフ表示

パーシャルチェックファイル指定
(例、All_Yokohama.pck)

※ 正しく設定したにもかかわらずパーシャルチェックが機能しない場合、パーシャルチェックウインドウで右クリックし、「読み込みPCKファイル+参加中のQSO済データ」にチェックを入れる。

提出用電子ログ出力



JARL推奨旧フォーマット(R1.0)

コンテスト名称: オール横浜コンテスト ログ出力モード: 周波数限定

コンテスト名取得: 参加部門種目コード: **CM**

参加部門種目名称: **市内電信電話**

コールサイン: JA1WVO ゲストオペレーターのコールサイン: _____

周波数	局数	点数	マルチ								
136k	0	0	0	1.9M	0	0	0	3.5M	0	0	0
7M	0	0	0	10M	0	0	0	14M	0	0	0
18M	0	0	0	21M	0	0	0	24M	0	0	0
28M	127	254	19	50M	0	0	0	144M	0	0	0
430M	0	0	0	1.2G	0	0	0	2.4G	0	0	0
5.6G	0	0	0	10G	0	0	0	24G	0	0	0
47G	0	0	0	75G	0	0	0	77G	0	0	0
135G	0	0	0	248G	0	0	0				
合計	127	254	19					総得点	4826		1

局種係数(Field Day Contest)

連絡先住所: 横浜市青葉区あざみ野南3-6-9 氏名/社団名称: 左藤 清

E-mail address: ja1wvo@jarl.com 無線従事者資格: 第1級アマチュア無線技士

電話番号: 045-516-8396 最大空中線電力: 200 W 定格出力 実測出力

運用地: 横浜市青葉区 使用電源: 商用電源

設備: FTdx-5000MP, Versa 4ele Yagi

意見: _____

宣誓文: 私は、JARL制定のコンテスト規約および電波法令にしたがい運用した結果、ここに提出するサマリーシートおよびログシートなどが事実と相違ないものであることを、私の名義において誓います。

日付: 2018年6月10日 署名: 左藤 清 OK

モードを強制的に変更する モード: _____ 周波数順に出力する 備考出力する

オペレータを備考に出力する

マルチオペ種目運用者コールサイン/氏名: _____ 時刻: _____

登録クラブ番号: **11-1-68** JST

登録クラブ名称: **横浜青葉無線クラブ** UTC

国内：JARL 電子ログ
DX：Cabrillo 形式

横コンは「JARL推奨旧フォーマット(R1.0)」

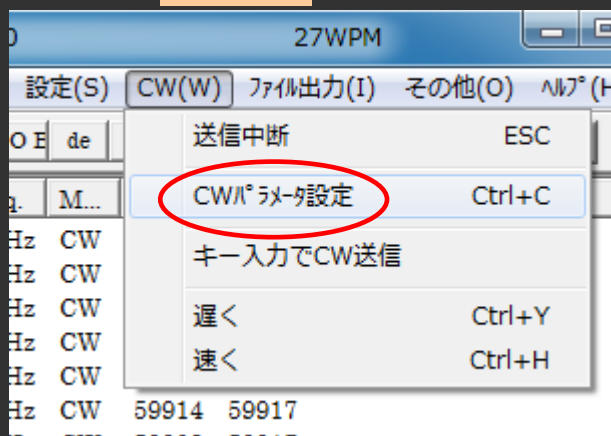
登録クラブ番号、登録クラブ名称を忘れずに記入のこと

CtestWin からのCW信号送出 - PC とインタフェースの活用(1)

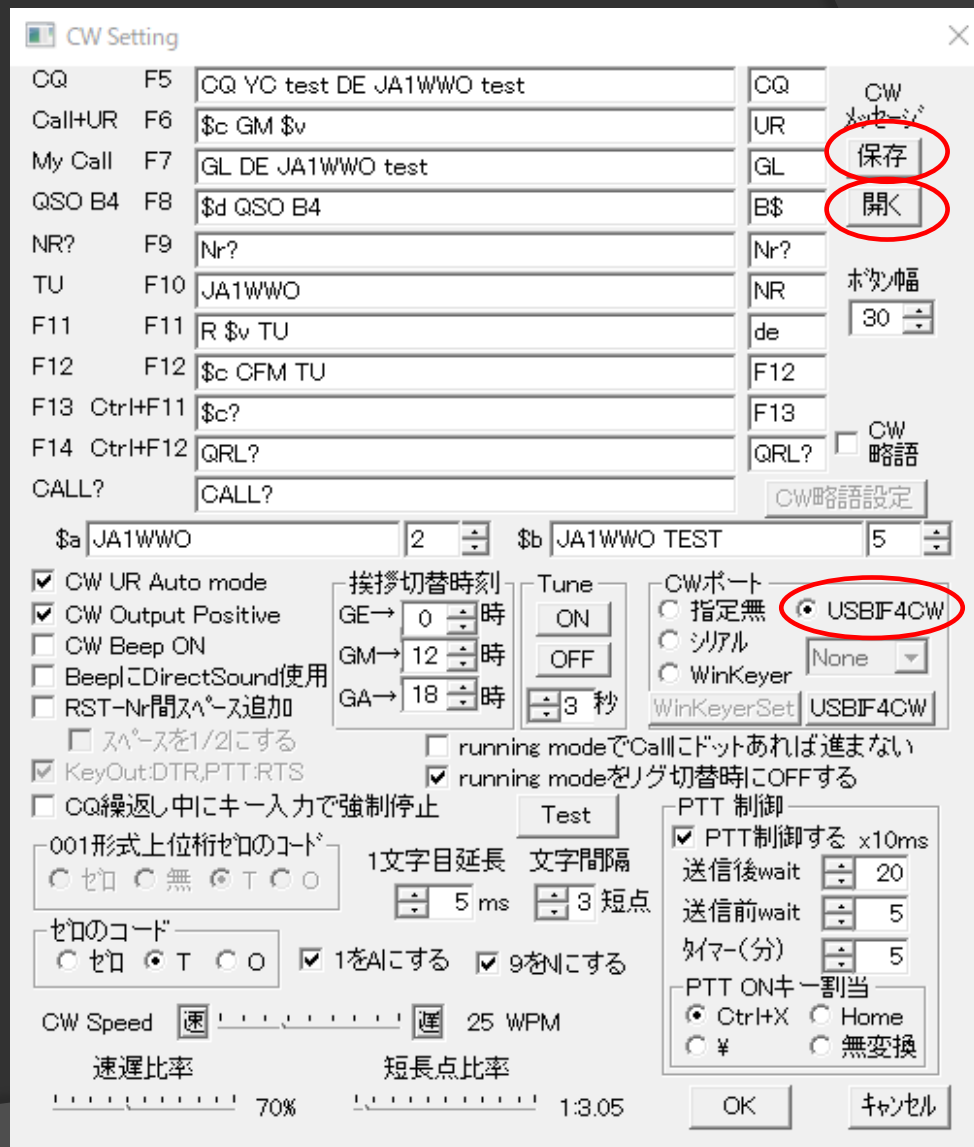


USBIF4CW

設定



CWパラメータ設定



- ・ 名前をつけて設定をファイルに保存 (例、All_Yokohama.cw)
- ・ 次回の設定を読み込むだけ

CtestWin からのCW信号送出 — PC とインタフェースの活用(2)

PC — インタフェース — リグの接続



PC

USB



USBIF4CW

キー入力端子



無線機

- ・ 無線機のエレキーは OFF
- ・ Break-in で送受切り替え

CW のシーケンス

(前ページの設定)

F4 (F5) : CQ YC test DE JA1WWO test
F4 (F6) : JA1GHR GM 59917
F4 (F7) : GL de JA1WWO test

F10 : JA1WWO (呼び回り)
F11 : R 59917 tu (コンテストナンバー送信)

F8 : JA1GHR QSO B4 tu (既交信済み、自動送出)

コンテスト終了後の処理

- 主催者へのログ・サマリー送付（前述）
- 通常使う電子ログへのデータエクスポート（後述）
- LotW、eQSL、Clublog へのログアップロード（ADIF 出力）
- ログをパーシャルチェックファイルに追加
- 提出したログ・サマリーを 7M3EFK 篠崎さんに送付（クラブ内コンテスト）



- 提出用ログ・サマリー出力
- Hamlo用 csv ファイル出力
- LotW用等 ADIF ファイル出力
- ログをパーシャルチェックファイルに追加

コンテスト終了後の処理（通常使う電子ログへのデータ出力）



Hamlog : CSV

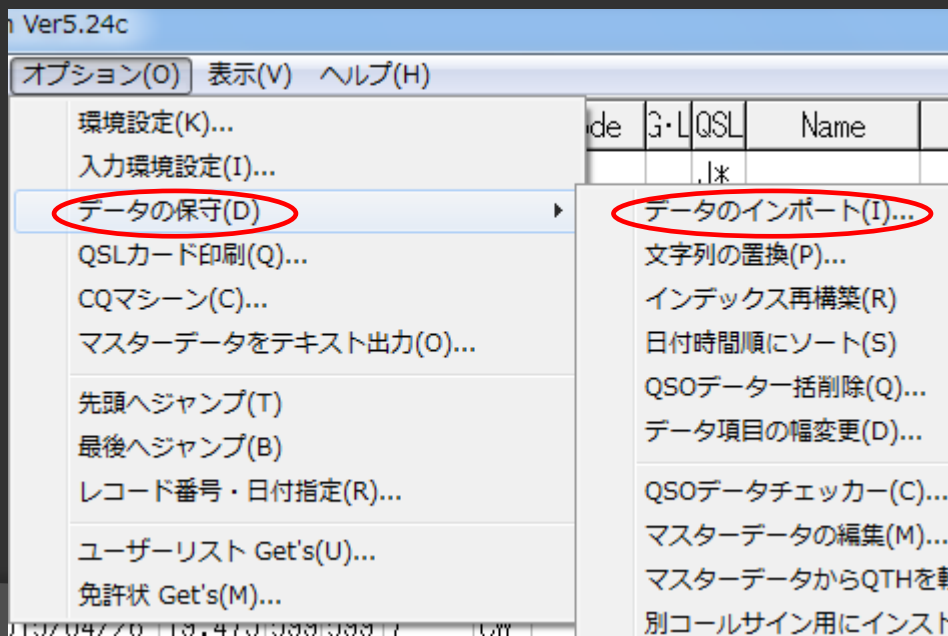
Logger32 : ADIF



ポップアップするウィンドウに必要事項を入力し、「OK」を押して保存

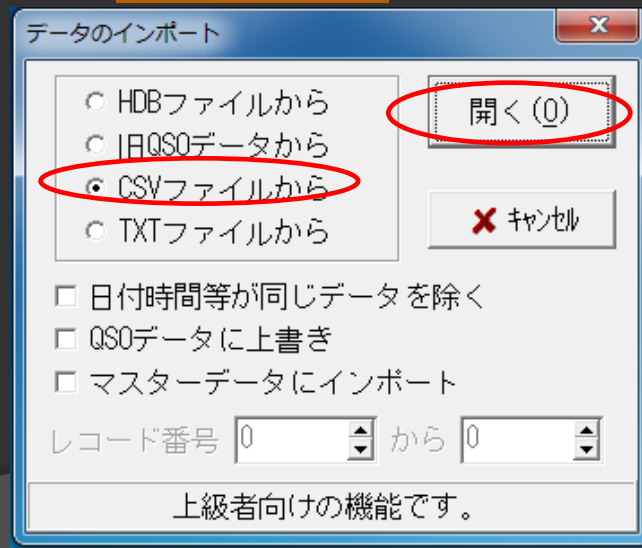
CtestWin

データ・エクスポート



Hamlog

データ・インポート



TIPS (ヒント) (1)

[セーブしないで終了してしまった!]

CTESTWIN と同じフォルダにある、**temp.lg8**, temp-1.lg8, temp-2.lg8, . . . がバックアップファイル (temp.lg8 が最新)。 これを読み込んで、データを確認後「名前をつけて保存」 (本来のファイル名で上書き)

[パーシャルチェックファイルのメンテナンス]

CTESTWIN と同じフォルダにある、拡張子が **pck** のファイルがチェックファイル。

- ① 該当のコンテストのログファイルを開き、「ファイル出力」 - 「ログをパーシャルチェックファイルに追加」を実行する。
- ② 該当の pck ファイルをメモ帳やエディタで開き、追加、削除する。

[コンテスト以外の運用]

CTESTWIN は、データの入力を効率的に行うことに特化しているので、移動運用や、記念局の運用にこれを使い、あとで、Hamlog 等にデータをエクスポートすると便利。

このときは、コンテスト選択ボタンを押し、右上の「マルチチェック無し/QSOパーティ」を選択する。

また、「設定」 - 「各種設定」 - 「入力」タブで、「重複局 (dupe) も記録する」にチェックする。

WARC バンドを運用する場合、「周波数モードボタン設定」を見直す。

TIPS (ヒント) (2)

[マルチが正しくカウントされない場合]

CQWW コンテストなど、JD1 やフランスの海外領土の TX など、プリフィックスだけでは、マルチ (entity) が判別できないものがある。

CTESTWIN と同じフォルダにある、md を拡張子とするファイル (DXCCWW.md など) をエディターやメモ帳などで読み込んで編集する。

DXCCWW.md の抜粋

JD1BJE	JD/m	3	OC	27	Minami Torishima↓
JD1YAA	JD/m	3	OC	27	Minami Torishima↓
JD1*	JD/o	1	AS	27	Ogasawara↓
JA*	JA	0	AS	25	Japan↓
↓					
↓					
TO1A	FY	3	SA	09	French Guiana ↓
TO3R	FR	3	AF	39	Reunion↓
↓					

*は、ワイルドカード、それから次は何でも区別をつけない。

例えば、プリフィックスが JD1 の局は、原則として Ogasawara にカウントする。

Minami Torishima にカウントすべき局は、**それより前の行に記述**する。

フランスの海外領土の局で TO や TX で始まる局は、それだけでは entity が判別できないので、個別に記述し、マルチが判別できない局があった場合には、個別に追加する。

バージョンアップすると md ファイルが上書きされる場合があるので、バックアップすることをお勧めする。

(参考) コンテスト関連 URL

JARL コンテスト

http://www.jarl.org/Japanese/1_Tanoshimo/1-1_Contest/

CTESTWIN

<http://e.gmob.jp/ctestwin/Download.html>

Turbo HAMLOG

<http://www.hamlog.com/>

USBIF 4CW

<http://nksg.net/usbif4cw/>

その他の CW インタフェース

http://www.iris.dti.ne.jp/~spark/keyer_interface.htm